

授業科目	必・選	学年	学科	担当教員	単位数	授業時間	自学自習時間
日本語表現 Japanese Expression	必修	4年	M E C B	橋本博美（非常勤） 石塚政吾 工藤一紘（非常勤） 水野 麗	2	通年週2時間 (合計60時間)	
<p>〔教材〕 教科書：『国語表現Ⅱ』京都書房。 補助教材：『小論文頻出テーマ集』第一学習社、『基礎からの国語表現の実践』京都書房、その他自製プリント。 辞書：国語辞典、または電子辞書。</p>							
<p>〔授業の目標と概要〕 将来の社会人として必要不可欠な日本語の知識と表現力を身に付け、意見文や小論文、また実用的な文章が書けるようになる。また プレゼンテーションやディベートを通して口頭表現の仕方についても習熟する。</p>							
<p>〔授業の進め方〕 演習形式で進める。教科書の単元に沿って課題文を書き、日本語の語彙や敬語の習得、正しい文章や履歴書、手紙の書き方などをプリントや原稿用紙を用いて学習していく。また口頭発表や討論の仕方についても学習する。評価が合格点に達しなかった場合、課題を再提出させることがある。</p>							
〔授業内容〕							
授 業 項 目		時間	内 容				
授業ガイダンス		1	授業の進め方と評価の仕方について説明する。				
1 表現の基礎		2	正確で丁寧な履歴書が書ける。				
(1) 履歴書の書き方		3	日本語の意味や語感の問題について説明できる。				
(2) 言葉の意味と語感		2	対立する考えについて自分の意見を述べることができる。				
(3) 考えるということ							
2 文章の読み取り		2	段落に基いた文章構成を説明できる。				
(1) 文章の構成		4	悪文の間違いを指摘し正しい文に直すことができる。				
(2) 悪文の修正		4	文章の要約文を適切に作るすることができる。				
(3) 要約の方法		4	表やグラフのデータを正確に読み取ることができる。				
(4) データの読み取り							
3 種々の表現		2	短歌、俳句、川柳などの創作ができる。				
(1) 韻文の創作		2	敬語について理解を深め正確に運用できる。				
(2) 敬語表現		2	個人や企業に対して適切な手紙文が書ける。				
(3) 手紙の書き方		2	案内状などの適切な葉書が書ける。				
(4) 葉書の書き方							
前期期末試験		なし					
4 意見を述べるⅠ		4	インターンシップでの感想を発表し、また他人の発表を聞いて質問ができる。				
(1) 発表とディスカッション		8	ディベートに参加して討論ができる。				
(2) ディベート							
5 意見を述べるⅡ		2	意見文の構成について説明できる。				
(1) 意見文の構成		2	意見文の適切な主題を作ることができる。				
(2) 主題作りと主題分析		4	意見文をテーマに即して書くことができる				
(3) 意見文の表現		6	小論文を適切に書くことができる				
(4) 小論文の表現		2	企業の課題に応じたエントリーシートが書ける。				
(5) エントリーシートの書き方		2	本授業のまとめとファイル点検。授業アンケート。				
(5) まとめ							
学年末試験		なし					
〔到達目標〕 日本語の語彙や文の組み立て、文章の構成についてよく理解し、自分の意見を確立して、それを書くこと・話すことの両面において場面や問題に応じ適切に運用・発表できるようになること。							
〔評価方法〕 合格点は60点である。要約文や意見文・小論文などの提出物や口頭発表、またプリントやノートの点検ごとに点数をつけ、その総点を回数で割って評価する。							
〔認証評価関連科目〕 国語ⅠA、国語ⅠB、国語Ⅱ、国語Ⅲ							
〔JABEE関連科目〕							
〔学習上の注意〕 普段から新聞やTVのニュースをよく見聞き、日本語や社会の抱える問題について知識を広くもちそれらのさまざまな面について自分の考えを深めておくようにすること。							
達成しようとしている 基本的な成果	(A)	秋田高専学習・ 教育目標	D-1	JABEE基準	f		

授業科目	必・選	学年	学科	担当教員	単位数	授業時間	自学自習時間
スポーツ教育 I Sports Education I	必修	4年	-----E----- C	白根 弘也	1	後期週2時間 (合計30時間)	
[教材]							
[授業の目標と概要] 様々なスポーツの特性にふれ、生涯にわたりスポーツライフが継続できるように、それぞれにあったスポーツを見つける。また、効果的な練習・ゲームの学習をとおして、公正・協力・責任などの態度を育てる。							
[授業の進め方] 実技演習形式で進める。自己評価を踏まえ、必要に応じて各種目の小テストを行う。							
[授業内容]							
授業項目	時間	内 容					
授業ガイダンス	2	授業の進め方と評価の仕方について説明する。					
1 選択Ⅰ (外種目) (1) ソフトボール (2) サッカー (3) テニス	6	守備やバッティングの技術を活用し、自分たちでルールを確かめながらゲームを進めることができる。 ボール操作の技術を活用し、自分たちでルールを確かめながらゲームを進めることができる。 ラケット操作やサーブの技術を活用し、自分たちでルールを確かめながらゲームを進めることができる。					
2 選択Ⅱ (ニュースポーツ) (種目) ピロポロ、ユニカール、 ペタンク、ショートテニス、 ユニホック、インディアカ	6	各種目の特性を理解し、ルールを確かめながらゲームを進めることができる。					
3 選択Ⅲ (内種目) (1) 卓球 (2) バドミントン (3) バスケットボール (4) バレーボール	8	ラケット操作やサーブの技術を活用し、自分たちでルールを確かめてゲームを進めることができる。 ラケット操作やサーブの技術を活用し、自分たちでルールを確かめてゲームを進めることができる。 ドリブルやシュートの技術を活用し、自分たちでルールを確かめてゲームを進めることができる。 トスやレシーブ、サーブの技術を活用し、自分たちでルールを確かめてゲームを進めることができる。					
4 選択Ⅳ (内種目・ニュースポーツ) (種目) 卓球、バドミントン、 バスケットボール、 バレーボール、ピロポロ、 ユニカール、ペタンク、 ショートテニス、ユニホック、 インディアカ	8	各種目の特性を理解し、自ら進んで取り組み技術を向上させることができる。 本授業のまとめ・授業アンケート					
[到達目標] 種目別・教材別の技能、知識を身に付けることができること。また、シラバスに掲載以外の運動技能については、個人ごとに問題・課題を発見して目標を設定し、社会的態度及び生涯を通じて継続的に運動を実践できる能力と態度を育てる。							
[評価方法] 各種目ごとの実技・技能の小テストが70%、出席状況・授業への取り組み方など平素の態度を30%とする。定期試験は行わない。 学年総合評価 = 実技試験 × 0.7 + 受講態度 × 0.3 合格点は60点以上とする。							
[認証評価関連科目] 保健体育Ⅰ, 保健体育Ⅱ, 保健体育Ⅲ, スポーツ教育Ⅱ							
[JABEE関連科目] スポーツ教育Ⅱ							
[学習上の注意] 用器具の取り扱い等、安全確保に必要な事項を理解させ、活動環境に十分配慮する。							
達成しようとしている 基本的な成果	(A)	秋田高専学習 ・教育目標	C-4	JABEE 基準	h		

授 業 科 目	必・選	学 年	学 科	担 当 教 員	単 位 数	授 業 時 間	自 学 自 習 時 間
総合英語 I General English I	必修	4年	C・B	菅原 隆行	2	通年週2時間 (合計60時間)	
[教 材] 教科書：「東京大学 教養英語読本 I」 東京大学出版会 「TOEICテスト 新・最強トリプル模試3」 The Japan Times 「Deep Listening Level 2」 日本英語検定協会通信教育部							
[授業の目標と概要] 英文の精読とTOEIC問題演習を通して、より高度な英語の運用能力を修得する。							
[授業の進め方] 演習形式で行い、小テスト（TOEICテスト）も随時実施する。アルク・ネットアカデミーは主に自学自習課題として使用する。試験結果が合格点に達しない場合、再試験を行うことがある。							
[授業内容]							
授 業 項 目		時 間	内 容				
授業ガイダンス		1	授業の進め方と評価の仕方について説明する。				
Session 1 How to Look at Everything (Part 1)		6	芸術論に関する英文を理解できる。				
TOEIC リスニング Part I ～ Part IV 演習		4	TOEICリスニング問題の傾向がわかる。				
(Deep Listening) Lesson 1～5		3	基礎的な内容の聞き取りができる。				
前期中間試験		1	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		1	前期中間試験の解説と解答				
Session 2 How to Look at Everything (Part 2)		8	芸術論に関する英文を理解できる。				
TOEIC リーディング Part V ～ Part VII 演習		3	TOEICリーディング問題の傾向がわかる。				
(Deep Listening) Lesson 6 ～ 10		2	より詳細な情報を理解することができる。				
前期末試験		あり	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		2	前期末試験の解説と解答、および授業アンケート				
Session 3 How the Brain Creates Mental World ①		8	脳における認知機能に関する英文を理解できる。				
TOEIC リスニング Part I ～ Part IV 演習		3	TOEICリスニング問題のスピードに対応できる。				
(Deep Listening) Lesson 11～ 15		3	必要最低限のコミュニケーションのやりとりができる。				
後期中間試験		1	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		1	後期中間試験の解説と解答				
Session 4 How the Brain Creates Mental World ②		6	脳における認知機能に関する英文を理解できる。				
TOEIC リーディング Part V ～ Part VII 演習		4	速読により必要な情報を早く見つけることができる。				
(Deep Listening) Lesson 16 ～ 20		3	相手と簡単なディスカッションができる。				
学年末試験		あり	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		2	学年末試験の解説と解答・授業のまとめ・授業アンケート				
[到達目標] 長い英文を正確に読みとる英語力と、TOEICスコア400点以上の英語力を身につけるのが目標である。							
[評価方法] 合格点は60点である。各中間、期末の成績は、試験成績60%、TOEICテスト40%で評価する。 学年総合成績 = (前期中間成績 + 前期末成績 + 後期中間成績 + 卒業成績) / 4 なお、TOEICスコアが300点未満の学生は、単位取得が困難になるので注意すること。							
[認証評価関連科目] 英語 I, 英語 II, 英語 III, 英語LL演習, 英語会話, 総合英語 II, 上級英語, 工業英語							
[JABEE関連科目] 総合英語II、上級英語、工業英語、(応用英語I・II・III)							
[学習上の注意] 宿題が多いので計画的に課題を進めること。宿題をしない学生は履修を放棄したとみなすので注意すること。							
達成しようとしている基本的な成果	(C)	秋田高専学習成果・教育目標	D-2	J A B E E 基準	a, f		

授 業 科 目	必・選	学 年	学 科 専 攻	担 当 教 員	単 位 数	授 業 時 間	自 学 自 習 時 間
ドイツ語 German	必修	4年	M E C B	桑本裕二	2	通年週2時間 (合計60時間)	
[教 材] 教科書：『Lecker! Lecker! Lecker! おいしく学ぶドイツ語』 郁文堂							
[授業の目標と概要] ドイツ語の初等文法を身につける。完全な文法事項の把握というよりは、英語といかに違うのか、あるいは似ているのかを認識し、それらの背景知識がひいては英語学習の手助けとなることを望む。							
[授業の進め方] 演習形式で行います。教科書に沿って授業を進めます。適宜、辞書のひき方なども確認します。試験結果が合格点に達しない場合、再試験を行うことがあります。							
[授業内容]							
授 業 項 目		時 間	内 容				
授業ガイダンス		1	授業の進め方と評価の仕方について説明する。				
アルファベート・あいさつの言葉		1	アルファベート・挨拶の言葉を理解できる。				
1. 動詞の形・動詞の位置		4	動詞の現在活用、語順について理解できる。				
2. 冠詞と名詞の形		4	冠詞と名詞の格変化について理解できる。				
3. 語幹が代わる動詞・命令の形		4	動詞の不規則な現在活用・命令形について理解できる。				
前期中間試験		1	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		1	前期中間試験の解説と解答				
4. 冠詞のそっくりさんたち		4	数詞・冠詞類・指示代名詞について理解できる。				
5. ich, du er などの3格と4格・前置詞の相手		4	人称代名詞の格変化・前置詞の格支配について理解できる。				
6. 助動詞を使った文・未来形があらわすもの		5	話法の助動詞・未来時称について理解できる。				
前期末試験		あり	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		2	前期末試験の解説と解答, および授業アンケート				
7. ふたつに分かれる動詞・もう一人の自分・語順を替える接続詞		4	分離動詞・再帰動詞・従属の接続詞と語順について理解できる。				
8. 形容詞の語尾・形容詞の名詞への変身		5	形容詞の格変化・形容詞猪名詞化について理解できる。				
9. 動詞の3つの重要な形・過去をあらわす動詞の形		5	動詞の3基本形・過去人称変化について理解できる。				
後期中間試験		1	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		1	後期中間試験の解説と解答				
10. 完了形はhabenまたはseinと過去分詞で		4	完了時称について理解できる。				
11. 比較の表現・zuのつく不定詞		4	形容詞の比較・zu不定詞について理解できる。				
13. 「…される」という言い方・動詞の形容詞への変身		5	受動・現在分詞について理解できる。				
学年末試験		あり	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		2	学年末試験の解説と解答, 本授業のまとめ, および授業アンケート				
[到達目標] ドイツ語の文法について一通りの理解をし、辞書を使えばどうにか簡単な文章なら理解できるという程度をめざす。							
[評価方法] 合格点は60点である。各中間、期末の成績は、試験結果100%で評価する。 学年総合成績 = (前期中間成績 + 前期末成績 + 後期中間成績 + 学年末成績) / 4							
[認証評価関連科目]							
[JABEE関連科目]							
[学習上の注意] 本科目は、英語で求められるような高度な語学運用力を養うものではない。英語との比較で様々な異同を感じられれば十分である。予習や宿題は一切必要としない。そのかわり授業の参加による理解が全てである。このことを肝に銘じ、熱心な授業参加を心がけてほしい。							
達成しようとしている基本的な成果	(C)	秋田高専学習・教育目標	A-1	J A B E E 基準	a		

授 業 科 目	必・選	学 年	学 科 専 攻	担 当 教 員	単 位 数	授 業 時 間	自 学 自 習 時 間
社会と文化 Society & Culture	選択	4年	M E C B	長井栄二	1	前期週2時間 (合計30時間)	
<p>[教 材] 参考書：「日本経済読本[第16版]」 金森久雄編 東洋経済新報社 「EUは国家を超えられるか」 平島健司著 岩波書店 その他： 自製プリントの配布</p>							
<p>[授業の目標と概要] 戦後の日本、およびヨーロッパ近現代における地域をめぐる問題を多様な観点から学ぶことにより、現代日本が置かれている問題状況を相対的に考察していくための基礎視角を習得する。</p>							
<p>[授業の進め方] 講義形式で行う。 試験結果が合格点に達しない場合、再試験を行うことがある。</p>							
[授業内容]							
授 業 項 目		時 間	内 容				
授業のガイダンス		1	授業の進め方と評価の仕方について説明する。				
1 地域問題と地域政策							
(1) 序論		1	地域政策の定義を学ぶ。				
(2) 戦後日本の地域問題		8	戦後日本における地域問題の概要を学ぶ。				
(3) 近代ドイツの地域政策		4	大戦前ドイツにおける地域政策の事例を学ぶ。				
前期中間試験		1	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		1	前期中間試験の解説と解答				
2 戦後の欧州統合							
(1) 序論		1	現代世界における本テーマの位置づけを学ぶ。				
(2) 地域統合の過程		8	欧州地域統合の画期性と漸進性がわかる。				
(3) 統合の現状		4	欧州統合の現状に関する事例を学ぶ。				
前期末試験		あり	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		2	前期末試験の解説と解答、本授業のまとめ、および授業アンケート				
<p>[到達目標] 戦後日本の地域格差問題を相対化できるようになること。 戦後の欧州における地域統合の特質を捉えることができるようになること。</p>							
<p>[評価方法] 合格点は60点である。各中間、期末の成績は、いずれも試験結果で評価する。 学年総合成績 = (中間成績 + 期末成績) / 2。</p>							
[認証評価関連科目] 現代社会、人類史Ⅰ、人類史Ⅱ、(科学技術史)、(技術者倫理)							
[J A B E E 関連科目] (日本文化論)、(社会経済史)							
<p>[学習上の注意] 今日の諸地域や世界の情勢について関心に向け、複数のメディアを通じて情報に触れておくこと。様々な見解を相対的に捉え、各自が自分なりに問題を整理する習慣を身に付けていくことが重要である。</p>							
達成しようとしている 基本的な成果	(A)	秋田高専学習 ・教育目標	A-1	J A B E E 基準	a		

授 業 科 目	必・選	学 年	学 科 専 攻	担 当 教 員	単 位 数	授 業 時 間	自 学 自 習 時 間
社会と文化 Society & Culture	選択	4年	M E C B	桑本裕二	1	前期週2時間 (合計30時間)	
[教 材] 『中国語のしくみ』白水社							
[授業の目標と概要] 中華人民共和国、台湾で、漢民族の間で話されている中国語（北京官話）の文法の初歩を学びます。							
[授業の進め方] 講義および演習形式。市宇検結果が合格点に達しない場合、再試験を求めることがある。							
[授業内容]							
授 業 項 目		時 間	内 容				
授業ガイダンス		1	授業の進め方と評価の仕方について説明する。				
i							
1. 文字と発音のしくみ			左記内容について理解する。				
2. 書き方と語のしくみ			左記内容について理解する。				
3. 文のしくみ			左記内容について理解する。				
ii							
1. 区別のしくみ			左記内容について理解する。				

2. 動作のしくみ			左記内容について理解する。				
3. 「てにをは」のしくみ			左記内容について理解する。				
4. 数のしくみ			左記内容について理解する。				
5. 実際のしくみ			左記内容について理解する。				
前期末試験		あり	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。				
試験の解説と解答		2	前期末試験の解説と解答，および授業アンケート				
[到達目標] 中国語の言語体系について大まかにとらえること。							
[評価方法] 合格点は60点である。前期末の成績は，試験結果100%で評価する。							
[認証評価関連科目] 現代社会，人類史Ⅰ・Ⅱ，科学技術史，技術者倫理							
[JABEE関連科目] 社会と文化，（日本文化論），（社会経済史）							
[学習上の注意] 日本語で使われる漢字とは少し字形の違う簡体字について、また、日本語や英語のアクセントとは違う音調である声調についての知識を中心にして、あいさつやその他のごく簡単な文法の習得を目指します。							
達成しようとしている基本的な成果	(A)	秋田高専学習・教育目標	A-1	J A B E E基準	a		

授 業 科 目	必・選	学 年	学科(組) 専 攻	担 当 教 員	単 位 数	授 業 時 間	自 学 自 習 時 間
科学技術社会史 Social History of Technology	選択	4 年	M E C B	脇野 博 脇野 博 脇野 博 脇野 博	1	前期週 2 時間 (合計 3 0 時間)	
[教 材] その他：自製プリントの配布							
[授業の目標と概要] キャリア教育における企業研究も兼ね、19世紀後半以降を中心に、科学技術と企業の関係を歴史的に考察する。							
[授業の進め方] 講義形式で行う。試験結果が合格点に達しない場合、再試験を行うことがある。 なお、中間試験は授業時間内に実施する。							
[授業内容]							
授 業 項 目			時 間	内 容			
授業ガイダンス			1	授業の進め方と評価の仕方について説明する。			
1 19世紀の科学技術と企業							
(1)産業革命と起業			4	産業革命と科学技術・企業の関係を理解できる			
(2)重工業・鉄道と企業			5	重工業や鉄道の発展と科学技術・企業の関係を理解できる			
(3)化学工業と企業			4	化学工業の成立と科学技術・企業の関係を理解できる			
前期中間試験			—	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。			
試験の解説と解答			1	前期中間試験の解説と解答			
2 20世紀の科学技術と企業							
(1)重化学工業と企業			5	重化学工業の発展と科学技術・企業の新たな関係を理解できる			
(2)ネット社会と企業			4	情報化社会の展開と科学技術・企業の関係を理解できる			
(3)バイオテクノロジーと企業			4	生命を操作できる社会と科学技術・企業の関係を理解できる			
前期末試験			あり	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。			
試験の解説と解答			2	前期末試験の解説と解答、本授業のまとめ、および授業アンケート			
[到達目標] 科学技術と社会の関係を歴史的に考察・理解する上で必要不可欠な学術的要素を身につけ、現代の科学技術と社会の関係について主体的に問題発見し、考察が出来るようになること。							
[評価方法] 合格点は 60 点である。中間・期末の成績は試験結果で評価する。 学年総合成績 = (前期中間成績 + 前期末成績) / 2							
[認証評価関連科目] 現代社会，人類史Ⅰ・Ⅱ，科学技術史，人類史Ⅱ，技術者倫理							
[J A B E E 関連科目] 社会と文化，(日本文化論)，(社会経済史)							
[学習上の注意] 科学技術史の文献，歴史資料や企業情報を調べ，情報を整理すること。様々な見方を相対的に捉え整理することがポイントである。							
達成しようとしている 基本的な成果	(A)	学習・教育目標	A-1	J A B E E 基準	a		